



RI 第2610地区

東となみロータリークラブ会報

2015-2016年度 No.35

事務局(新) 〒939-1652 富山県南砺市福光新町 56

TEL 0763-55-6125

FAX 0763-55-6147

h.tonamirc@gmail.com

2015—2016年度 会長 浅田裕二、幹事 中島眞市

2015-2016年度 RI テーマ



世界へのプレゼントになろう

(K.R. “ラビ” ラビンドラン会長)

例会記録

第1807回例会

平成28年3月23日(水)12:30～ よいとこ井波

1. 点 鐘 : 坂井直前会長
2. ソング : それでこそロータリー
3. 卓話ゲスト : 石井駿氏(書道家) : 紹介者 : 横山豊介会員。



4. ゲスト : 高源さん(2011-2013 年度米山奨学生、不二越勤務) : 皆さん、こんにちは。2年ぶりです。いつも、HPで東となみ RC の活動をみています。昨年3月長女を出産、育児休暇明けて、今週金曜から、職場復帰します。



5. 会長の時間(坂井直前会長) : 本日、会長・副会長欠席で代理です。石井さん、高源さん、ようこそ。先日のIMで「ロータリーモメント」という題で5分間スピーチをしました。後の長谷川綾子さんの講演が素晴しく、心理学的に3型を分析し、それぞれの対応をする

よう心掛けていこうと努めてますが、難しいですね。昨日、南砺 RC へメイクしました。地区大会の実行委員の方と打合せも兼ねて行きました。懇親会の形をどうするか、まだ検討中です。(立食形式が一番やりやすいのですが・・・)

6. 幹事報告①4/2 源流セミナーが尼崎で開催されます。申し込みは、白山 RC へ。②近隣クラブ例会変更は、事務局に確認。
7. 出席委員会報告 : 本日、20名中12名出席 : 60.00%



8. 委員会報告 : ①親睦活動委員会(長田委員) : 4/6 松風樓で18:00から。井波交通広場、17:30バス送迎あり。(齋藤委員)座布団がいいか、座イスがいいか、質問され、座イス希望が多い。②山本武夫会長エレクト : 4/10、地区研修・協議会の各分科会の出席案内(各自に配布)。砺波なので、マイカーで各自出席を！③山本武夫会員 : 今年の「良い歯の日キャンペーン」は4/18(月)10:00～11:00、マーシ園を訪問予定です。



9. ニコニコBOX(SAA : 本日 6 名)

坂井直前会長 : 石井先生・高源さん、心より歓迎！

齊藤彰会員 : 石井先生ようこそ、久しぶりに高源さんが里帰り、元気そうで嬉しい！皆様よろしく。

中島幹事 : 石井駿先生、卓話よろしく。高源さん、久しぶり、ゆっくりして行って下さい。

齊藤美華子会員 : 本日は福光の石井先生の卓話と伺い、馳せ参じました。

高源さん : 皆さんこんにちは。本日例会に出席させて頂いて有難うございます。皆様にお会いできてうれしく思っています。本日宜しくお願いします。

山本武夫会員 : 石井先生、高源さん、ようこそ。石井先生のお孫さんの和ちゃんとうちの末娘麻紗子は剣道のライバルでした。高源さん、ホームカミング、Welcome ! 4月18日良い歯の日キャンペーンはマーシ園です。



ゲスト卓話「無題」石井駿氏(書道家)

横山豊介会員(紹介者) : 本日の卓話当番は私でしたがゲストで、古くからの友人の石井駿さんをお招きしました。現在、福光美術館で、お兄さんの故南耕さん、奥さんの克代さんとの「3人展」を開催中です。皆さん見に行ってお下さい。



石井駿氏 : 本日は、卓話を横山豊介先生に依頼され、昔からの大先輩ですので、嫌を言えませんが、参りました。

福光美術館は、棟方志功や石崎光瑤、松村秀太郎などの作品が常設されています。今回は、「書・今を拓く 石井南耕・駿・克代展」をそれぞれ15点展示させて頂いています。私は、書家ということで参りましたが、「飯が食えない“家”はない」と常々考えております。このとなみ野は芸術が盛ん、特に前衛書も盛んです。

私は大東文化大の出身で、元々満蒙体制を指示する学校として設立され、靖国神社の横、九段にありました。古くから書道教育に熱心で、前衛書の創始者たる上田桑鳩(丹波篠山出身)と親しい宇野雪村や前皇后陛下御用達の鳩居堂の熊谷恒子や青山杉雨などがいました。

一方で富山では、このとなみ野で前衛芸術運動を第1人者の大澤雅休や棟方志功などが起こし、越南書道研究会を大澤や表立雲が立ちあげ、井波の常川汀華(県内女性の第1人者)らが加わりました。しかし、書として評価は分かれます。造型的な芸術なら、わかりませんが、本来は書は文字、意思を伝達する目的があり、そういう意味ではまた違った評価もあります。私の息子は剣道をしています。書道と剣道は、「瞬発的表現」という面では似た所があるかもしれません。

さて、棟方志功は、戦前疎開で福光に参りましたが、私の生家のすぐ裏の光徳寺に住んでいました。一時期、私の伯父夫婦の家にもいて、よく見かけました。当時、風呂の火起こしの風を送るのに志功の版木をパタパタと使っていた記憶があります。福光のあちこちで配ったのがあるそうです。志功は、モンペをはき、ちゃんちゃんこを着て、ラムネのビン底のような眼鏡をかけていました。よく、町と里の悪ガキのすれ違いでも、今風な“ハグ”で仲良しになりました。だんだん、そんなことを語る人がいなくなってきました。こんな時こそ、私は、後世に語りつないでいきなと思っています。【現在は、志功が居を構えた家屋は「愛染苑」として記念館に、妻と子供3人が暮らした住居は「鯉雨画斎(りうがさい)」として、板戸や厠の壁や天井には天女や菩薩が描かれたまま保存されています。(筆者註)】

(本日会報担当 : 長田会員・山本武夫会員)